

産業環境委員会情報連絡

令和7年11月12日

情報連絡件名	頁
(1) 「足立区くらしフェスタ（消費生活展）」の開催結果について・・・・・・・・	2
(2) 起業家交流会の開催について・・・・・・・・	4
(3) 令和7年度イルミネーションサンアヤセの開催中止について・・・・・・・・	5
(4) 第6回あだち農産物品評会の開催について・・・・・・・・	7
(5) あだち区民まつり「A－F e s t a 2025」の開催結果について・・・・・・・・	8

(産業経済部)

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年11月12日

件 名	「足立区くらしフェスタ（消費生活展）」の開催結果について
所管部課名	産業経済部 産業政策課 消費者センター
内 容	1 目的 消費者生活グループの活動成果の展示と、官公庁・生活関連企業等の情報提供により、区内消費者の意識啓発を図ることを目的に実施する。 2 開催日時 令和7年10月25日(土) 午前10時～午後4時 3 会場 エル・ソフィア 4 テーマ 「エシカル消費、始めの一步」 5 参加者数 637人（令和6年度 812人：曇り 最高気温20.7度） ※ 今年度は一日雨模様で、最高気温も13.5度と低かったため、参加者数が昨年度より減少した。 6 今年度の特徴 イベント全体の賑わいを創出するため、出展団体数並びに体験ブース数を増やした。 (1) 出展団体数 31団体（令和6年度 26団体） (2) 体験ブース数 14ブース（令和6年度 9ブース） 7 主なイベント参加状況等 (1) エシカルの木（265人） エシカル関連ブースで学んだことの中で、エシカル消費につながる行動を葉っぱ（紙）に書いて木に貼る。 〔景品〕紙製ポットで環境にやさしいミニトマト等の栽培セット 木を使わず、リサイクルプラを使用した色鉛筆12本セット 繰り返し使える自然素材のラップ (2) クイズラリー（中学生以上305人） 会場内31ブースのうち、15ブースで出題。消費生活などに関するクイズに答え、スタンプを10個以上集め、抽選で景品がもらえる。 〔景品〕区内菓子詰合せ、消費者センター啓発グッズ

(3) 子ども向けお買い物ゲーム (小学生以下121人)

楽しみながらお金の使い方を学ぶ機会にするため、小学生以下のクイズラリー参加者には、《くらしフェスタ専用紙幣》を配付し、その専用紙幣で駄菓子を購入する。

8 参加者の声

(1) クイズ形式で楽しく学べることができました。(30代)

(2) エシカルという言葉を知りませんでした。知れることができて良かったです。(40代)

(3) とても良い企画だと思います。これからも続けて下さい。(60代)

9 今後の方針等

消費者団体及び関係団体への参加を働き続け、継続して実施してきたことにより、「エシカル消費」の周知を図ることができた。

今後も集客増加及び効果的な周知方法を検討していく。

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

件 名	起業家交流会の開催について
所管部課名	産業経済部 企業経営支援課
内 容	1 目的 創業者同士の交流の場を提供することで、人脈の拡大やビジネスパートナーの確保を促し、持続的な成長を支援するため。今回は5回目の開催。 2 対象 概ね創業5年未満の個人・法人 3 日時及び会場 令和7年12月9日（火）午後2時30分～午後5時 東京芸術センター21階 天空劇場（足立区千住一丁目4番1号） 4 定員 50名 ※ 令和6年度実績：申込者数51名、参加者数35名（当日欠席16名） 5 内容（予定） （1）ミニセミナー ア テーマ 「創業期を乗り越え、次のステージへ！ ～足立区の支援制度のご紹介～」 イ 講師 足立区マッチングクリエイター（中小企業診断士） （2）令和7年度創業プランコンテスト受賞者事業内容発表 （3）フリー交流会 6 広報について 生活産業広報紙「トキメキ」、足立区公式ホームページ・SNS、設立後5年以内の区内法人へのダイレクトメール及び創業者対象のメールマガジン等により周知する。 7 今後の方針等 参加者からの意見や要望を反映し、創業者の課題や実務に関するテーマを取り上げるとともに、交流の機会を提供することで、仲間づくりや新たなビジネスチャンスの創出につながる場となるよう、今後も継続して開催していく。

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年11月12日

件 名	令和7年度イルミネーションサンアヤセの開催中止について														
所管部課名	産業経済部 産業振興課														
内 容	令和7年度のイルミネーションサンアヤセについて、主催者であるサンアヤセ商店街振興組合が、開催中止を決定したため報告する。 1 イベントの開催を中止した理由 (1) 前年度まで、イベント開催のために中心的な活動をしていた商店街担当者がご急逝されたため。 (2) 商店街は、今年ステージショーを行わず、都立東綾瀬公園（ハト広場）に6～8メートル程度のクリスマスツリーの設置を希望していたが、東京都がツリー設置の条件として「安全担保を確約する文章を提出すること」を提示した。ツリー設置する造園業者とも相談したが「確約する」ことは難しいと判断し、イベントを断念するに至った。 2 開催中止に至った経緯・対応内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時 期</th><th>区と商店街の動き</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年 4 月</td><td>① イベント開催のために中心的な活動をしていた商店街担当者がご急逝された。</td></tr> <tr> <td>6 月</td><td>② 区は、商店街とイベントの打ち合わせを実施。商店街から例年よりも規模縮小しての開催要望を受けて、内容を検討した。</td></tr> <tr> <td>7 月</td><td>③ 商店街から、東綾瀬公園（ハト広場）の西側に隣接するプロムナードに6～8メートルのツリー設置要望があった。 ④ 区が都にツリー設置の条件を確認し、商店街に共有した。都が提示した設置条件は、ツリーが倒れないよう安全確保を確約すること及び、ツリー設置時に舗道に問題が生じた場合に現状回復することであった。</td></tr> <tr> <td>8 月</td><td>⑤ 商店街が、ツリー設置条件や、業者への見積もりを確認するなど、実施に向けた検討を継続した。</td></tr> <tr> <td>9 月</td><td>⑥ 商店街にツリー設置およびイベント実施の可否について最終確認したところ、ツリー設置およびイベント開催は見送るが、綾瀬駅前の街路樹への電飾は検討を続けるとの回答があった</td></tr> <tr> <td>10 月</td><td>⑦ 商店街では綾瀬駅前の街路樹への電飾も検討したが、時間的な余裕がないため、今回は実施を見送るとの回答があった。</td></tr> </tbody> </table>	時 期	区と商店街の動き	令和7年 4 月	① イベント開催のために中心的な活動をしていた商店街担当者がご急逝された。	6 月	② 区は、商店街とイベントの打ち合わせを実施。商店街から例年よりも規模縮小しての開催要望を受けて、内容を検討した。	7 月	③ 商店街から、東綾瀬公園（ハト広場）の西側に隣接するプロムナードに6～8メートルのツリー設置要望があった。 ④ 区が都にツリー設置の条件を確認し、商店街に共有した。都が提示した設置条件は、ツリーが倒れないよう安全確保を確約すること及び、ツリー設置時に舗道に問題が生じた場合に現状回復することであった。	8 月	⑤ 商店街が、ツリー設置条件や、業者への見積もりを確認するなど、実施に向けた検討を継続した。	9 月	⑥ 商店街にツリー設置およびイベント実施の可否について最終確認したところ、ツリー設置およびイベント開催は見送るが、綾瀬駅前の街路樹への電飾は検討を続けるとの回答があった	10 月	⑦ 商店街では綾瀬駅前の街路樹への電飾も検討したが、時間的な余裕がないため、今回は実施を見送るとの回答があった。
時 期	区と商店街の動き														
令和7年 4 月	① イベント開催のために中心的な活動をしていた商店街担当者がご急逝された。														
6 月	② 区は、商店街とイベントの打ち合わせを実施。商店街から例年よりも規模縮小しての開催要望を受けて、内容を検討した。														
7 月	③ 商店街から、東綾瀬公園（ハト広場）の西側に隣接するプロムナードに6～8メートルのツリー設置要望があった。 ④ 区が都にツリー設置の条件を確認し、商店街に共有した。都が提示した設置条件は、ツリーが倒れないよう安全確保を確約すること及び、ツリー設置時に舗道に問題が生じた場合に現状回復することであった。														
8 月	⑤ 商店街が、ツリー設置条件や、業者への見積もりを確認するなど、実施に向けた検討を継続した。														
9 月	⑥ 商店街にツリー設置およびイベント実施の可否について最終確認したところ、ツリー設置およびイベント開催は見送るが、綾瀬駅前の街路樹への電飾は検討を続けるとの回答があった														
10 月	⑦ 商店街では綾瀬駅前の街路樹への電飾も検討したが、時間的な余裕がないため、今回は実施を見送るとの回答があった。														

	3 イルミネーションサンアヤセの概要 (1) 実施時期 毎年12月中旬 (2) 主催者 サンアヤセ商店街振興組合 (3) 実施内容 光の祭典の連携イベントとして、都立東綾瀬公園（ハト広場）で開催。 ステージショーや模擬店、ワークショップも実施されていた (4) 区からの補助金 光の祭典の連携イベントとして、区から3,000千円の補助金支出 4 今後の方針等 (1) 来年度以降のイベント開催については、商店街の意向を確認しながら、実施の可否について検討していく。 (2) 地元の町会、自治会へイベント中止の情報を提供する。 (3) 区のHPにイベント中止の情報を掲載する。
--	--

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和 7 年 1 1 月 1 2 日

件 名	第 6 回あだち農産物品評会の開催について
所管部課名	産業経済部 産業振興課
内 容	第 6 回あだち農産物品評会を以下の通り開催する。 1 目的 区内農業者が栽培した農産物の優劣を競うことにより栽培技術と品質の向上を図るとともに、区内農産物直売所の周知により農業者の収益の向上に寄与することを目的とする。 2 日時・会場 (1) 日時 令和 7 年 1 2 月 1 7 日 (水) ア 審査 午前 1 0 時 3 0 分～正午 イ 今回展示・販売は行わない (審査後農産物は子ども食堂に寄付する) (2) 審査会場 J A 東京スマイル足立支店 2 階 (足立区中央本町一丁目 4-3) 3 出品予定物・褒賞 (1) 出品予定物 区内産農産物 (コマツナ、ブロッコリー、ダイコン、花き 等) (2) 褒賞 直前の J A 直売部役員会で決定 (昨年度は特別賞 1 4 点、優秀賞 1 6 点) 4 主催・後援・協賛 (1) 主催 足立区、東京スマイル農業協同組合 (2) 後援 足立区観光交流協会 (3) 協賛 東京スマイル農業協同組合足立直売部 東京都農業共済組合

産 業 環 境 委 員 会 情 報 連 絡

令和7年11月12日

件 名	あだち区民まつり「A－F e s t a 2025」の開催結果について																
所管部課名	産業経済部 産業振興課、一般財団法人足立区観光交流協会																
内 容	令和7年10月11日（土）、12日（日）に実施した、あだち区民まつり「A－F e s t a 2025」の結果について、以下のとおり報告する。																
	1 総来場者数について																
	<table><tr><th></th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>前回比</th></tr><tr><td>土曜日</td><td>10／12（晴） 160,000人</td><td>10／11（小雨） 80,000人</td><td>－80,000人</td></tr><tr><td>日曜日</td><td>10／13（晴） 210,000人</td><td>10／12（晴） 220,000人</td><td>＋10,000人</td></tr><tr><td>計</td><td>370,000人</td><td>300,000人</td><td>－70,000人</td></tr></table>		令和6年度	令和7年度	前回比	土曜日	10／12（晴） 160,000人	10／11（小雨） 80,000人	－80,000人	日曜日	10／13（晴） 210,000人	10／12（晴） 220,000人	＋10,000人	計	370,000人	300,000人	－70,000人
		令和6年度	令和7年度	前回比													
	土曜日	10／12（晴） 160,000人	10／11（小雨） 80,000人	－80,000人													
	日曜日	10／13（晴） 210,000人	10／12（晴） 220,000人	＋10,000人													
	計	370,000人	300,000人	－70,000人													
	2 S D G sの取り組みについて																
	（1）エコ容器等の使用																
	エコ容器（リユース食器含む）が使用可能な飲食物を販売した37団体のうち、26団体がエコ容器を使用した。																
（2）リユース食器の使用																	
ア 使用結果																	
利用希望のあった8団体に、観光交流協会でレンタルしたリユース食器を配付した。前回との比較は、下表のとおり。																	
<table><tr><th></th><th>食器</th><th>準備数</th><th>使用数</th><th>未返却</th></tr><tr><td>あだち区民まつり 2024</td><td>お椀 コップ等</td><td>4,000</td><td>3,440</td><td>725 (未返却率21.1%)</td></tr><tr><td>あだち区民まつり 2025</td><td>お椀 コップ等</td><td>5,600</td><td>3,480</td><td>370 (未返却率10.6%)</td></tr></table>		食器	準備数	使用数	未返却	あだち区民まつり 2024	お椀 コップ等	4,000	3,440	725 (未返却率21.1%)	あだち区民まつり 2025	お椀 コップ等	5,600	3,480	370 (未返却率10.6%)		
	食器	準備数	使用数	未返却													
あだち区民まつり 2024	お椀 コップ等	4,000	3,440	725 (未返却率21.1%)													
あだち区民まつり 2025	お椀 コップ等	5,600	3,480	370 (未返却率10.6%)													
イ 未返却率について																	
以下の取り組みにより、返却率が向上したと考えられる。																	
（ア）リユース食器使用の出店者から購入者へ、返却場所の案内を積極的に行ったこと。																	
（イ）飲食用テーブルに、返却場所の案内表示をしたこと。																	
（ウ）「ごみステーション」テントの看板に、リユース食器返却場所と明記したこと。																	

(3) テント表示

庁外16団体、庁内26課が、取り組みについてのテント表示を実施。

(庁外団体の例) 女性団体連合会



(庁内団体の例) 足立清掃事務所



3 来場者の声について

- (1) 畳づくりの体験、缶バッジ作り、お菓子まきなど、子どもが一日かけて楽しめました。足立区のイベントは、他に比べて、展示だけよりも「体験」が多くて良いと思います。
- (2) 「環境フェスティバル」で、マイボトル用給水所を利用しました。プラスチックごみのクイズや廃食油回収のこと、ごみ収集車の中を見たりといろいろ学べました。
- (3) 「巡って探せ！千住宿の秘宝」(千住宿開宿400年企画)に参加しています。千住の良さを知るきっかけになりました。飲食ブースがもっとあるとよかったです。

4 今後の方針等

- (1) 日曜日は、例年になくトイレの列が長く伸びていた。次回は、仮設トイレを増やすとともに、トイレの出入りが見えないよう目隠しを増やし、プライバシー保護を徹底していく。
- (2) 「防災フェスティバル」「環境フェスティバル」については、次回も継続して実施する方向で、担当所管と調整していく。
- (3) 飲食販売については、公募枠の増を検討する。また、地元で活動している団体等への声かけも引き続き行い、出展の拡大に努めていく。